



2025年 1月 第150号

産業文化通信

JCI産業文化協同組合 技能実習生受入事業部発行

東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 6階

電話：03-3525-4838



新年のご挨拶

組合員企業の皆様

新年あけましておめでとうございます！

去る2024年には元日に能登半島で大地震が発生し、私がかつて訪れた伝統工芸の町輪島が被害を受けました。そして二月には過去にGDP世界2位だった日本がドイツに抜かれ、世界第4位となりました。長く続いている円安は4月にとうとう34年ぶり160円台に突入し、物価上昇がなかなか止まりません。円安と物価上昇で海外の人材募集状況は大きな影響を受け、国会は技能実習制度を廃止し育成就労制度導入を可決しました。

明るい話と言えれば7月にパリで開催されたパリ五輪がありましたが、日本経済にプラスの影響は少なく、どこか遠い存在でした。それに対して遠くて近い国であるアメリカ大統領にトランプ氏が再選され、「アメリカファースト」を一貫方針とした彼の再選は日本経済にプラスに影響することは期待できそうにありません。

新年早々このようなネガティブなお話をしてしまいましたが、経営者として難局を打開するのは使命であります、日本企業のリノベーション力が落ちたことが、世界における日本の存在感を小さくし、それが円安に繋がっています。今こそ各企業は絶えず変化する外的環境に順応し、リノベーションしなければなりません。

当組合も「技能実習制度廃止と育成就労制度導入」に対応するため制度の理解及び内部の組織改革を2024年末から始めました。今までの事務局＋外回り体制から脱皮し、グループに分化してそれぞれの職員が専門職から多能工に進化するよう、変革を進めております。

また、今後さらに特定技能のシェアが増えていく事から、組合員の皆様がスムーズに技能実習から特定技能へと移行されるよう、最適な提案させていただきたく存じます。

さて、円安で海外から日本への旅行客が急増しています。この機に日本の良さが世界に広がるでしょう。また、日本のグローバル企業が積極的に統廃合を行い、次の躍進のための力を蓄える姿勢が見え始めています。組合員の皆様、是非ご一緒に変化の時代を乗り越え、果敢にリノベーションを行いましょう。JCI産業文化協同組合は人材面で皆様のお力になります。

組合員の皆さまのご健康とご活躍を祈り、活発な一年となりますようお祈り申し上げます。

今年も宜しくお願い致します！

JCI産業文化協同組合
代表理事 遠藤 辛杜